



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2025～2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツォ
RIテーマ UNITE FOR GOOD

クラブテーマ「”笑顔”のために手をとりあおう」

会長 服部光弥 幹事 小島 真

第1611回 例会 2024.7. 11(金)曇

司会: 杉山寿美子君

ロータリーソング「我等の生業」 指揮: 高橋大輔君

事務所 三島市泉町9-8 1F南

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 服部光弥君

小さな頃・・・父親と母親が喧嘩をしているのを居間のソファの下に潜って耳を塞いで、二人の足元をみていました。ただの夫婦喧嘩だったのかな？しかし、気が付くと幼い私の傍には母親ではなく、いつもお祖母ちゃんがいました。小さな頃の自分は率先して言葉を発することを避け、学校で先生から「本読みはできるわね？」と言われても、吃音障害の私にとっては苦悩な時間でした。そんな吃音を治すため？に毎日、新聞記事をトイレで音読していた頃が懐かしく思います。

さて、7月9日の新聞記事(大自在)で「食べ終わった茶碗でお茶をのむのはアリか・・・」という記事がありました。皆さんいかがでしょうか？文末には道元禅師の教えを踏まえ、米1粒も無駄にしない精神と修行僧が速やかに食事を済ませる合理性が一体となっているため、「合理的な作法」「理にかなった方法」と強調していました。この記事を書いた記者は、子ども達に「昔はこうしていた」と教えながら、一緒に茶碗に熱いお茶を注いだそうです。洗い物が楽になっただけでなく、食事への感謝の気持ちが自然に湧いてきたそうです。

そこで私は、「子どもの頃の体験が、その後の人生においてどう影響しているか？」と改めて痛感しました。

前回の例会でもお伝えしましたが、今月は「母子と健康月間」です。

昨年度の7月第2例会、仲原会長あいさつで「「母子の健康」に関する問題は出産後の子育て環境、子どもの貧困状態です」と熱く伝えていました。子ども達を貧困から救って「心の健康」を得られるように！などどは、私ひとりではおこがましくて言えませんが、ここに集まる皆さんと手をとり合って「笑顔」を実現させましょう！

せせらぎ三島ロータリークラブの3本柱の支援のひとつ「子ども食堂支援」へのご協力を切にお願い申し上げ、会長の挨拶・お願いとさせていただきます。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

堀内満喜子ガバナー補佐(三島RC)
佐藤浩美君(ガバナー補佐事務局・三島RC)
山田敏博君(ガバナー補佐事務局・三島RC)
代 煜超さん(米山奨学生)
勝又陽介さん(高村君・佐野君のゲスト)
中山和雄さん

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	36/41	87.80%	36/41	87.80%
今回	25/38	65.79%	会員総数	41名

欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

新井君、伊丹君、入江君、大村君、加藤(貴)君、佐野君、杉橋君、土屋君、野村君、道場君、矢岸君、渡邊君

(※出席免除会員の欠席者 片野君 山本君)

入会おめでとう



原 国太郎君

生年月日: 1974年 6月 1日

職業分類: 土地家屋調査士

事業所: 原土地家屋調査士事務所

ガバナー補佐挨拶



堀内満喜子ガバナー補佐(三島RC)

今年度、静岡第1グループガバナー補佐を務めさせていただきます三島RCの堀内満喜子でございます。たいへん身の引き締まる思いがしていますが、ガバナー補佐としての責務を全うできますよう精一杯務めてまいりますので、どうぞ1年間よろしくお願いいたします。

自己紹介をさせていただきたいと思います。

私は、和歌山県で生まれまして、父の仕事の関係で小学校6年生から千葉県に転校しました。その後学生時代に知り合った沼津出身の主人と結婚をし、現在に至ります。

紀伊半島から房総半島に、そして伊豆半島へと半島がどんどん小さくなりました。黒潮ラインに沿って縁があるようです。

ロータリークラブには2002年に入会して、24年になります。地区では、インターアクト小委員会委員、学友会委員、RLIのファシリテーターをさせていただいています。

6月8日にマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトが突然の辞任されたことで、世界中のロータリアンたちは驚きと、戸惑いで大慌てでしたが1週間で理事会は、イタリアのラゲザ・ロータリークラブのフランチェスコ・アレツツォ氏を選出されました。

RI会長となられたフランチェスコ・アレツツォ氏は、会長メッセージはそのまま継承され、「UNITE FOR GOOD」(よいことのために手を取りあおう)となりました。

ロータリーの目的も課題も私たちのすべき活動は変わらないのです。

そのメッセージをいただいた稲葉ガバナーは、「The First To Act-Rotarians」(ロータリアンから始めよう)

とされました。

稲葉ガバナーは、RI会長のメッセージの焦点であります「会員増強」の重要性を掲げています。そして、ロータリーの最大の財産は「会員」であると言われました。私たち、一人一人が財産なのです。

会員増強を活性化するためには、「革新・継続性・パートナーシップ」という3つの柱が不可欠な要素です。そして、クラブでの体験がとても大切なことなのです。

まず、会員がクラブリーダーを信頼していることです。そして会員が例会を楽しんでいることが大事です。また奉仕の機会によって地元や世界の地域社会に変化をもたらしているかどうか。会員が有意義な友情と個人的なつながりを築いているのでしょうか。会員同士が居心地よく過ごせることが大切です。

会員増強とクラブの成長のためには継続性が大切です。

継続性は連携でもあり、国際ロータリーが推奨する3年間の目標3-YEAR GOALSは今年度で2年目にあります。

3-YEAR ROLLING TARGET/PLAN(3年間の目標と計画)を策定してください。年度ごとに見直すことで、クラブの活性化を目指することができます。この3年計画を通じて、ロータリークラブがより効果的に社会に貢献し、会員にとって魅力的なクラブになることが期待されます。

3つ目のパートナーシップの力として、他団体や他の組織と連携することでより大きな力となります。またロータリーの価値観を共有し世界で良いことをするロータリーの力を拡大することができます。

ロータリーのポリオ根絶推進活動を40年間、ゲイツ財団WHO・UNICEF・米国疾病対策センター・Gaviワクチンアライアンスたちをパートナーとしてポリオをなくす活動に取り組んでいます。パートナーがいるからこそ99%まで減少させることが出来たと思います。ロータリーも今年の2月23日で120年になりました。ロータリーを次世代に繋いでいくことがとても大事なことです。会員数の維持は大事ですがクラブを成長させるためには会員基盤を強化することが不可欠です。後継者育成計画の重要性を考えてみましょう。ロータリーの奉仕の仲間を増やし地域社会へ貢献し、活気とインパクトのあるクラブにしましょう！

UNITE FOR GOOD(よいことのために手を取り合おう)

手を取り合うことは、「協力する」「助け合う」「力を合わせる」「一丸となる」など一人一人のロータリアンが、手を取り合ってクラブの課題・目的・思いを共有し、そして共感ができたらUNAITE(団結)しパートナーシップの力も加えて笑顔で奉仕ができるクラブに！私たちが共に行動すれば、世界を変えられます！

改めて、ロータリーの活動を整理します。

皆に共感されるべき「目的」「ビジョン」「奉仕理念」「中核的価値観」などが普遍的概念として存在し、社会課題の変化に対応する形で重要視された「DEI」などが新たに加えられています。

これらの概念をもって向き合う対象として「重点分野」が存在し、その内容は多岐にわたり、環境の変化に応じて対象や向き合い方を調整することで、絶えず公平な準備が保たれていると期待されます。そしてロータリアンは、奉仕活動のみならず生活や仕事においても「4つのテスト」による点検過程を経て言動することにより、共感された目的などに対して効果的に貢献ができることと思います。

以上の手順を基本に、クラブや地区委員会において地域や最近の事情などを鑑みた「行動計画推進」として、柔軟にカスタマイズされた活動が実行されていくことでしょう。

ロータリアンの共感

＊目的や方法に対する関係性

課題

重点分野(RI・R財団)

「平和の推進」「疾病との闘い」「水と衛生」「母子の健康」「教育の支援」「地域経済の発展」「環境の保護」

方法

【二つの奉仕理念】

①職業奉仕

②他人のための人道的奉仕

【4つのテスト】【中核的価値観】

「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」

【行動計画】 【DEI】

【RI、ガバナー、委員長、クラブ会長の方針】

目的

「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨、育むこと」

- ・知り合いを広め奉仕の機会とする
- ・職業上の高い倫理基準を保ち、職業を高潔なものにする
- ・奉仕の理念を実施する
- ・国際理解、親善、平和を推進する

「ビジョン声明」

「持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指す」

(方法)

- ①大きなインパクト
- ②参加者基盤
- ③積極的な関わり
- ④適応力の高度化

行動

【地区、委員会】【クラブ】

「計画と実践」

- ・具体的な目標と設置
- ・効果的な奉仕実践
- ・成果に対する評価と検討クラブ・サポート・ミーティング

今年度より「クラブサポートミーティング」が始まります

これは、クラブ会長とガバナーがクラブの課題や実情を共有し、より良いコミュニケーションを築くための場です。

開催日程

【1回目】ガバナー公式訪問の会長、幹事会

2回目以降はZoom開催

【2回目】2025年11月10日(月)19:00～

【3回目】2026年 2月 9日(月)19:00～

【4回目】2026年 4月6日(月)19:00～

【5回目】2026年 8月 6日(月)19:00～

地区大会

12月6日、7日 伊東市・伊豆市で開催

「川奈ホテル・伊豆ペロドローム」

台北国際大会

「2026年6月13日～17日(台湾・台北市)」

【登録受付中】マイロータリーから手続きができます。

【国際大会推進委員会企画ツアー】

決まり次第ご案内いたします。

地区ナイト開催 6月13日

「よいことのために手を取り合おう」

UNITE FOR GOOD

「ロータリアンからはじめましょう」

The First to Act Rotarians

{皆さんロータリアンから始めましょう!}

【静岡第一グループ】

ロータリアンの「一食」が繋ぐ支援の輪

～子ども食堂へお米を届けるプロジェクト～

静岡第一グループでは、地域社会への継続的な支援の一環として、例会の食事を通じてお米を子ども食堂に寄付する取り組みをスタートします。

この活動は、国際的な社会貢献プログラム「TEBLE FOR TWO」に着想したもので、例会の食事のテーブルにはもう一人の子供(食事が食べられない)がいると思って、会員の皆さまの気持ちを寄付していただければと思います。

期間は、半年とします。

集まった資金でお米を購入し、子ども食堂に届けることを目的としています。

- ・各クラブが通常の例会内で実施できるシンプルな仕組み
- ・「この日は子どもたちのための一食」と意識するだけで参加できる。

- ・クラブ間連携の実践を行うことで、グループとしての一体感と協力体制を育む。

社会奉仕委員会

恒例行事ですが施設へ寄付品の持ち寄りのお願いです。自社での余り品やお中元頂き物等皆様の善意宜しくお願い致します。

7月18日ガバナー訪問時贈呈式を予定しております。回収は来週7月18日夜例会当日でお願い致します。欠席の時は社会奉仕委員会他メンバーに預けてくれると助かります。

前年度出席表彰

ホームクラブ 100%

高村勝則君 仲原実圭君 山田定男君

一年間修正出席率 100%

大川 泰君 加藤正幸君 杉山寿美子君
鈴木俊也君 高橋大輔君 高橋麻子君
野村諒子君 原 兄多君 服部光弥君
三輪暁生君 矢岸貞夫君 米山晴敏君



スマイルボックス

堀内満喜子ガバナー補佐:今日は、せせらぎ三島RC第1回ガバナー補佐訪問させていただきます。第1回目はガバナー方針を伝達することですので、うまく伝えられるか心配ですがどうぞよろしくお願いいたします。

高橋麻子君:7月から保護司になりました。がんばります!

服部光弥君:堀内ガバナー補佐、事務局の山田さん、佐藤さん、ようこそ!

